

学正示診断 最大 2.2 万円



令和6年度 募集期間

5月15日砂~11月15日金

あなたの家にあてはまるものはありませんか?
 ☑ 断熱材が入っていない ☑ 窓は普通のガラス1枚



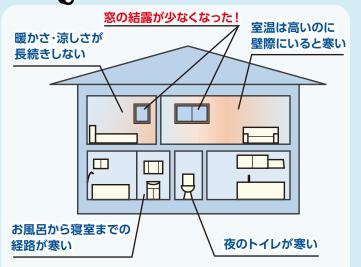
省エネ改修例1

省エネ改修例2

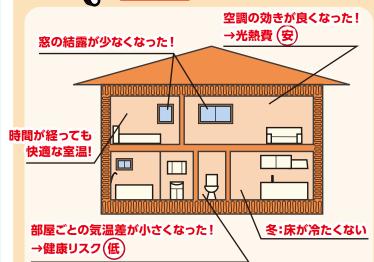


部分的に省エネ改修

・リビングと寝室の窓に内窓設置



家全体 を省エネ改修 ・壁、床、天井に断熱材を施工 ・全ての窓に内窓設置



利用頻度が高い部屋の 断熱性向上	メリット [地域4・省エネ基準改修の場合]	家全体の断熱性向上 ヒートショック防止効果あり	
0	断熱効果	0	
0	省エネ効果 (光熱費削減効果)	©	
低	改修コスト	高	
76.6万円	補助金額 大 20万円加算 人	96.6万円	

※別に定める条件を満たす場合



募集戸数

■ 200戸 ※先着順 予算がなくなり次第終了

補助金の交付額

	事業種別		最大補助額 [地域2,3の場合]*1	対象経費	補助率	加算額
省エネ診断		22,000円	診断に係る費用 診断に必要となる調査費用 BELSの評価・認証に必要な費用	2/3	_	
省工ネ改修 -	全体改修*2 BELS等の 評価・認証 が必要	省エネ基準	766,000円 [950,000円]	省エネ改修に要する費用 ・開口部及び躯体等の断熱化に 係る費用*4 ・設備の高効率化に係る費用*5	23% 「省エネ改修に係 る工事費」又は 「モデルエ事費 の合計」いずれか 低い額に対し。	最大 200,000円 以下の全ての室の 外気に面する部分の 断熱改修を行う場合。 ①居間、台所及び食堂 ②脱衣所
		ZEH水準	1,025,000円 [1,200,000円]			
	部分改修*3	省エネ基準	766,000円 [950,000円]			
		ZEH水準	1,025,000円 [1,200,000円]			③上記以外で改修 する室

- ※1地域区分については、県建築指導課HPでご確認ください。
- ※2 省エネ改修後の住宅が省エネ基準又はZEH水準に相当することについて、BELS等の評価・認証を受けているもの(取得予定であるものを含む)
- ※3 複数(2箇所以上)の開口部の改修を含むもの
- ※4窓ガラス交換、内窓設置、外窓交換、ドア交換、外壁、屋根、天井、床の断熱改修
- ※5 太陽熱利用システム、高断熱浴槽、高効率給湯機、節湯水栓、コージェネレーション設備、蓄電池、LED照明への改修

補助対象工事

- 令和6年4月1日以降に契約するもので、交付決定の日以降かつ令和7年3月31日までに完了するもの。 ※省エネ改修を行う住宅は下記に該当するものを除く
 - ・昭和56年5月31日以前に着工された住宅で、耐震診断等により地震に対する安全性が確認されていないもの (省エネ改修の完了までに耐震改修を行うことにより地震に対する安全性が確保されるものを除く)
 - ・現にZEH水準を満たしているもの
 - ※現に省エネ基準を満たしている住宅及び住宅の部分にあっては、ZEH水準を満たすよう改修を行うものに限る。

問合せ先・申請窓口 受付時間 9:00~12:00/13:00~16:00 ※土·日·祝日、8月14~16日は休業日です。

- ■県の連絡先

